

すいた ファミリー・サポート・センター通信



クローバー



第82号
2025. 5

5月の風が、爽やかな花の香りを運んでくれるようになりました。新年度が始まり1ヶ月が経ち、新しい生活も落ち着いた頃ではないでしょうか。地域のさまざまな人との出会いや支え合いの中で、子供も大人も成長していきます。人と人との絆が希薄になっている時代、ファミサポの小さなつながりを大切に安心・安全な活動を目指して、会員の皆様とご一緒に取り組んでいきたいと思ひます。



更新手続きのお知らせ

会員継続の意思確認を行うために、毎年更新手続きを行っています。昨年度入会(令和6年4月1日～令和7年3月31日入会)の方以外全員に、会員継続の意思確認をするハガキを同封しています。

ハガキ以外にもFAX、電話、下記のQRコードを読み取り、電子申し込みシステムでの回答ができます。
どうぞよろしくお願いいたします。

- ※ 封筒の下4桁の数字が会員番号です。
- ※ 援助・両方会員で、援助活動情報に変更があればお知らせください。
- ※ 更新手続きは2025年6月末までにお願ひします。一度退会になりますと『再入会』の手続きが必要となりますので、くれぐれもご注意ください。



【依頼・両方会員用】



【援助会員用】

活動報告書の提出

～ 電子申し込みシステムで可能に！～

毎月、活動報告書を提出していただきありがとうございます。

令和7年5月より、下記のQRコードを読み取り、電子申し込みシステムでの活動報告書の提出ができるようになりました。

必要項目を入力の上、スキャンデータか、活動報告書を撮影した写真データを添付し送付してください。

その場合、内容が確認できる鮮明な写真をお送りください。センターで確認が取れ受理できれば、原本の提出は必要ありません。

但し、多胎児支援補助券利用の活動については、電子申し込みシステムでの報告書提出はできません。

なお、引き続きセンターへ郵送またはご持参いただくことも可能です。やむを得ず提出が遅れる場合は、まずは、活動の有無をご報告してください。

【活動報告書の提出】 ➡



※活動依頼の連絡も電子申し込みシステムで可能です。ぜひご利用ください！



ファミサポでできないこと & おねがい



入会講習会でファミサポのルールをお話していますが、新しい依頼が入った時、ファミサポ活動で出来ないことを依頼されることもあります。今回は、その中で“ファミサポ活動でできないこと” また、“絶対にしてはいけないこと”“見直して頂きたいこと”等を取り上げてみました。

確認の上、今後の活動の参考にいただければと思います。よろしくお願いします。

病児・病後児の活動はできません

援助会員は、基本一般市民の方で、子供の病気に対応できるわけではありません。

ファミサポの活動は、病児・病後の子供の預かりはしていません。そのため、病気で保育園等を早退することになった時のお迎えの依頼はできません。

また、子供の病気時に通院をお願いしたり、依頼会員と一緒に付き添いの依頼もできませんので、ご注意ください。

複数預かりはできません

一人の援助会員が複数の依頼会員の子供を一度に預かることはできません。

センターの活動は【1 対 1】の預かりを行っていただくことが基本です。

兄弟姉妹であっても、一度に預かる人数が2人以上になることはなるべく避けるようにしましょう。活動する場合は、安全面に十分に配慮することが必要です。

依頼する前に家族の確認を！

新しい依頼が入った時に、援助会員を探し依頼会員に紹介した後に、「祖父母がみてくれることになったのでキャンセルで。」「父親が預けることに反対しているのでやめておく。」「いざお願いしようと思うと、小学生の子供が他人の家に行くのを嫌がるので、サポートは必要なくなった。」などの依頼取り消しが多くあります。

依頼を受けてくれた援助会員はご自身の予定を変更して段取りをしてくださる方もおられます。依頼のキャンセルをなるべくしないで済むように、事前にしっかりとご家族で検討してください。

センターに依頼してくる前に、まず子供、夫、祖父母等に確認をよろしくお願いします。

活動の際の写真・動画撮影について

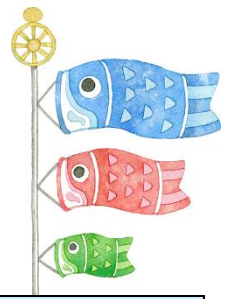
活動の際に、会員同士の承諾なしに写真や動画等の撮影、また SNS に掲載…などといったことは**絶対にしてはいけません。**

食事代の見直しはしていますか？

ここ数年、物価高騰が続き、特に食材の値上がりは目に余るものがあります。食事提供をしてくださっている援助会員は、食材費の値上がりに負担を覚えておられるのではないのでしょうか。しかし、食事代を値上げすることは依頼会員に伝え辛いものがあります。

新年度となり、改めてこの機会に子供の成長に伴う食事量も含めて、食事代の見直しを会員同士で話し合ってみてください。

研修会のご案内



開催日	開催時間	テーマ	講師
4月25日(金)	10:15~12:00	☆絵本のある生活と子育て	絵本作家:徳永 満理氏
5月22日(木)	10:15~12:00	★子供の健康	小児科医:細井 岳氏
5月26日(月)	10:15~12:00	★児童虐待の現状と課題	家庭児童相談室 職員
5月26日(月)	13:30~16:30	★乳幼児の救命講習	吹田市消防本部救急啓発グループ
5月30日(金)	10:15~12:00	★子供の病気とけが	看護師:小野寺 芳子氏
6月13日(金)	10:15~12:00	☆子供の歯のはなし	歯科医:時實 千代子氏

- ※ 研修会場は、全研修『夢つながり未来館』です。
- ※ 研修会の参加には事前の申し込みが必要です。
- ※ ★印の研修会は援助活動するための必須講座です。未受講の援助会員及び両方会員は是非ご参加ください。(両方会員で保育希望の方は申し込み時にご相談ください。)
- ※ 『子供の病気とけが』『子供の健康』と☆印の研修は、のびのび子育てプラザとの共催講座です。保育人数の関係上、受講希望の依頼会員の方は直接、のびのび子育てプラザ(06-6816-8585)に申し込んでください。(受付は概ね2週間前からです。)

「乳幼児の救命講習」は少なくとも5年に1回の受講をお願いします。

活動報告書よりー 楽しい場所でたっぷり遊んで！

子育て広場のスタッフが援助会員の登録をしている場合、子育て広場の場所を借りてファミサポ活動することが可能です。しかし、当日その時間は広場のスタッフとしての活動ではなく、ファミサポの活動となります。援助会員が少ない現状の中、この子育て広場が大きな助けとなっています。

私のひざに座り母とバイバイした後もいっさい泣かず、1才の子の動きを目で追っています。起き上がり人形やコロコロころがすおもちゃに手を伸ばして取ろうと必死。四つ這いでよいしょよいしょとゆっくり前進。飛び込むようにゲット！

広場にいられているママたちから「ホッペがかわいい！」とすっかり人気者になり、あちこちから「かわいいねえ」と声をかけられました。たっぷり遊んでミルクを飲んだあとはそのまま抱っこされて熟睡。そおっとベットへ。

よく寝てくれてます。途中1回泣いて起きてまた抱っこされて寝たけれど、16時15分には目はパッチリ。みんなが帰りシーンと静かな中、CDをかけて歌ったりおもちゃで遊びました。

(援助会員 Iさん・Kくん7ヶ月)

ご夫婦で ファミサポ活動

2009 年 4 月にご夫婦で入会され、何と 15 年間も兄弟のサポートをしてくださいました。

三月の卒業式の後、依頼会員Uさんが家族でお礼に来てくれました。すっかりお兄ちゃんらしくなったR君(12 歳)を見てうれしくなりました。横でニコニコ笑っているお兄ちゃんのJ君は、高校生になっています。

いつも「援助会員 O さんのおかげで」と言ってくれるUさんでした。でも、これまで長く続けられたのは、Uさんのおかげです。私たちは共稼ぎでしたので、子育ての大変さはよくわかっています。私たちを信用してお子さんを預けてくれ、それにこたえようという考え努力したつもりです。

この文章を書くに当たって、今までの活動報告の「援助会員用」の書類を見直してみました。平成 21 年から始まり、令和 5 年まで、325 回ありました。

お兄ちゃんの J 君が 1 歳「あゆみ保育園」の時からの記事を読んで、二人の成長を側で見ることができ、つくづくよかったなと思っています。お兄ちゃんの J 君は、高校生になって初めてバイトをしたお金でケーキを買ってきてくれました。うれしかったです。

宿題やテレビを見たりしている時は、夫が二人の側で話しながら見ています。その間に私が食事の支度をします。食事については一番苦労しました。何でもいいと言われていたのですが、お兄ちゃんの J 君は“食が細い”ので、もっと食べて欲しくて試行錯誤しました。でも、結局一番好きな物になりました。近所の娘が来て、時々孫娘と一緒に食事や宿題もしました。私たちには孫が 4 人いますが全員女の子です。

それで、R 君、J 君は男の子の孫のように思っています。

(援助会員 O ご夫妻)



ニューフェース紹介

この春から、すいたファミリー・サポートセンターのアドバイザーとして仲間入りしました。私は以前、子育て支援センターで3年程働いていました。

実生活では孫が4人おります。ちょうど手のかかる3歳・2歳・1歳・0歳です。依頼会員さん大変さがよくわかります。それと同時に、自分が子育てをしていた頃と、今の子育て事情の違いを感じているところです。

地域の子供たちが、優しい笑顔に囲まれて、安心して過ごせる…そんなお手伝いができればと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

(アドバイザー 平井)



会 員 数

依頼会員	1593 人
援助会員	204 人
両方会員	131 人
合 計	1928 人

(2025年3月31日現在)

すいたファミリー・サポート・センター

〒565-0824

吹田市山田西4丁目2番43号

吹田市立子育て青少年拠点夢つながり未来館
のびのび子育てプラザ内

Tel・Fax: 06-6816-8500

<E-mail>

familysupport@city.suita.osaka.jp

開設時間: 9:30~18:00(月~金)



緊急連絡先(のびのび子育てプラザ)

Tel: 06-6816-8585 Fax: 06-6816-8588